

再生可能エネルギーに



取り組む人びとと体験と課題

非核の会は東日本大震災後、「核兵器のない世界」と「原発のない日本」をめざしてきました。一昨年この二つの課題を掲げた意見ポスター運動に取り組み、昨年は公開講座「原発ゼロ、再生可能エネルギー社会への転換」を開催しました。そして「原発のない日本」の社会的条件を成熟させるために、「再生可能エネルギーの推進」の運動に着手してきました。

今回のシンポジウムでは、再生可能エネルギーに実際に取り組んでいる4人のみなさんの報告とライフスタイルの見直しを实践されている方の話などをもとに、どうしたらこの運動に参加できるか、脱原発にむけての展望のもとでどんな課題があるかなどについて学びます。

日時：**4月19日(土) 13:30~15:30**

会場：**京都教育文化センター・101号室**

京都市左京区聖護院川原町4-13 Tel:075-771-4221

プログラム

●自然再生可能エネルギーに取り組む事例報告

- ① 竹バイオマス発電:小西正樹さん(宮津市市役所・環境政策係長)
- ② 市民共同太陽光発電所づくり:大西啓子さん(きょうとグリーンファンド・事務局長)
- ③ 太陽光発電:藤原誉さん(美山町「田歌舎」代表)
- ④ 小水力発電:足立善彦さん(伏見工業高校・教頭)

●レトロモダンな暮らしのなかに節電・脱原発を願う

黒木順子さん(YWCA 会員)

●コーディネイター

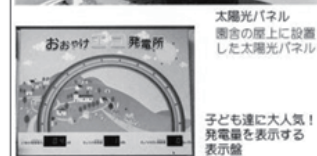
白石克孝さん(龍谷大学政策学部教授、地域再生学・持続可能性論)

参加費：500円

※なお、公開シンポジウム終了後、15:30から同会場で非核の政府を求める京都の会第28回定期総会を開催いたします。会員以外の方の定期総会への傍聴を歓迎します(無料です)。



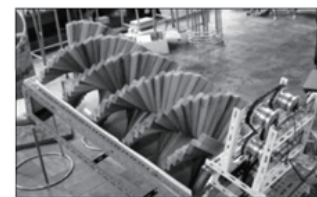
宮津市・竹バイオマス発電



市民共同発電所づくり



自然の中で太陽光発電



手軽にできる小水力発電